

GO!GO! ボランティア

第16回 ヒロトが行く!

名古屋から伝える国際理解!



ヒロトさんより

ボランティアと聞くと「意識高そうで難しそう…」なんて意見を耳にしますが、そんなことはないです!誰かのことを思って些細なことでも行動するだけで、自分だけでなく自分の周りも変わっていきます!

ある日のヒロトさんの1日

- 11:30 集合・ミーティング
- 13:30 募金活動開始
- 16:00 募金活動終了・反省会
- 18:30 OB・OGを交えての交流会

僕は世界の国に興味があり、いつか世界のいろいろな国の人たちとつながりたいと思っていました。また、社会やだれかの生活に貢献できるボランティア活動にも興味がありました。しかし、自分に勇気が持てず、はじめの一歩がなかなか踏み出せませんでした。高校に入り、たまたまSNSで「名古屋高校生国際ボランティア団体 どえりやあwings」のことを知り、ここなら自分がしたいことをできるかもしれないと思い、入団を決めました。この団体のいいところは学生だけで活動している、つまり自分たちがしたいことを実現しやすいところだと思います。4年前に創設されてから国際関係に興味がある学生が集まり、自分たちの考えを共有しながらボランティア活動を行っています。

僕が「どえりやあwings」これまでの活動で一番心に残っていることは募金活動です。カンボジアの子どもたちの衛生環境を良くしようと思い、現地のNGOの皆さんと協力しながら、現地に手を洗える水道を作るための街頭募金をしました。活動を通して学べたことは「思いを伝えることの大切さ」

です。団体のメンバーの中で「これがしたい!」と口にするのは簡単ですが、いざ外に出てみると、お金の問題や自分たちに協力してくれる団体を探すことなど、とても大きな壁にぶつかることがあります。それでも、あきらめないで自分たちの思いを伝えることが大切だと気づきました。募金活動でも、あきらめずに思いを伝え続けたら、僕たちの企画に賛同してくれる人がたくさん支援してくれました。

僕はこの団体の代表を2017年1月から務めています。やらなければいけないことや責任が増えて大変なことも多いですが、同じことに興味を持つ仲間とお互いに向上し合うことができ、毎日がとても充実しています。「どえりやあwings」第四期は「“Get A Different View”～たくさんの視点から支援を～」というスローガンをもって活動しています。「名古屋の若者にもっと世界のことを知ってほしい!」という考えのもと、新しいフェアトレード商品の開発や若者がもっと世界のことに興味を持てるような企画を計画しています。

ボランティアは一歩間違えれば、一方的な自己満足になってしまいます。相手のことを思い、何をしたら一番喜んでもらえるかを考え、それを行動に移せたときに相手も自分も笑顔になれると思っています。国際関係に限らず、何かしてみたいけど、一歩が踏み出せない。そんな人たちに、ボランティアに挑戦してみてほしいです。



12月に行ったカンボジアへの募金活動